

会派視察・研修報告書

会派名 市民の会

代表者名 仙石 三喜男

1 日 ち	令和 5年 10月 16日 (月) ~17日 (火)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 研修名：世界情勢からわがまちの未来をつくる
3 参 加 者	仙石 三喜男
4 調査・研修の テーマ	わがまちの未来について 世界情勢の研修を通して学ぶ
5 主な内容	① 世界情勢と日本への影響 ② 落語を RAKUGO に～伝統文化を世界へ ③ 外国人との共生社会実現のために ④ 地域のためのインバウンド観光の高付加価値化
6 所感、提言事項、課題等	<p>【議員氏名】仙石 三喜男</p> <p>世界情勢を見極め、変化に負けない特色あるまちづくりをしていくための JIAM 開講 30 周年記念セミナーに参加。各分野で活躍されている講師による研修内容で、古典芸能の落語家や観光まちづくりコンサルタントの外国人講師など JIAM としては極めて異色な講師による記念セミナー（研修）であった。</p> <p>① 世界情勢と日本への影響：中国南京市生まれの講師で、岐路にある中国経済の展望と題して「新たな日中関係の在り方」について、現状の中国の現状を知ることができ大変興味深かった。中国人の日本でのインバウンドの今後の予測は、現状中国の景気そのものが低下をしている、日本の処理水の問題等もあり現状はあまり期待ができない。今後は少し時間がかかると思われるが、今までの買い物だけでなく日本の地方の特色ある魅力・文化を求めて復活してくると予測されている。また、現在最も憂慮されている台湾有事については、次の理由でできない！やらない！との面白い報告があった。</p>

<p>6 所感、提言事項、課題等</p>	<p>1) コロナのPCR検査でお金を大量に投入した(米国より輸入)</p> <p>2) 中国の武器はロシア製が主で武器としての質の悪さを認識している。</p> <p>3) 中国人民解放軍はここ20年間まともな戦争経験が無い。</p> <p>4) 有事により大型動力式コンクリート式ダム「三峡ダム」が破壊された場合、下流域の被害が甚大になる可能性がある。他との理由でした。がしかし、日本としては戦術よりも戦略により台湾有事に備えることは必要との内容でした。</p> <p>②落語を RAKUGO に～伝統文化を世界へ : 研修で初めて落語家の落語そのものを聞くと予想外のセミナーだった。日本の古典芸能である落語を英語落語の第一人者である「桂 かい枝」氏が、アメリカツアーを1年間、他世界各国を講演し、まさに日本独自の伝統文化笑芸「RAKUGO」を通して世界に発信した楽しい講演でした。</p> <p>③外国人との共生社会実現のために : 多数の外国籍住民が居住する群馬県の実情や留学生の定住促進策としてのキャリア教育プロジェクト「グローバル・ハタラクラスぐんま」の事例から学ぶ。今後深刻化する人手不足に対応する手立てとして、群馬県では外交人との共存施策＝留学生の地元就職により高度外国人財を群馬の地元に着させた。群馬への愛着から定着へ！！</p> <p>⑤ 地域のためのインバウンド観光の高付加価値化 : 在日13年以上のブルガリア出身のスタンコフ氏の在日経験から、これからの日本におけるインバウンド観光の在り方を学ぶ。現状コロナ禍以前より大きくインバウンド観光客が減ったのは、中国、ロシア、EU諸国で、今後の挽回策については、質の向上を強調すると共に不安定な世界情勢を踏まえ人数に依存しない指標を掲げ、持続可能な更なる発展を目指すインバウンド政策が求められる。 以上</p>
----------------------	--